

私たちの活動を紹介します

鳥取市

NPO 法人 鳥取県自閉症協会

<理事長> ^{いぬいかずこ} 乾和子さん

<設立> 平成20年5月

<会員数> 209名

<公式ホームページ> <https://asj-tt.com>



クリスマス会での交流の様子

自閉症の子育て方法の学びあいからスタート

「NPO 法人 鳥取県自閉症協会」は、昭和51年に発足した「東部の親の会」が基盤です。親たちが集まって、自閉症の子育て方法などを学びあったことからはじまりました。主に自閉スペクトラム症の子を持つ保護者と、支援の専門家が会員で、現在は全県で活動しています。

自分らしく安心して地域で生活できるように

当協会は、自閉症などの発達障がいの人たちが、自分らしく安心して地域で生活できるよう活動しています。具体的には、エアロビクス教室、クリスマス会、情報交換会などを開催。また、先輩保護者である「ペアレントメンター」による相談活動をしています。

その他、講演会や研修会を開催し、学習しています。保護者は学ぶだけでなく、我が子のことを話すことで、自分だけではない、わかってもらえる仲間がいると思え、力をもらって前向きに我が子と向き合えます。また、お互いに相談しあったり、役立つ福祉サービス情報なども共有しています。

自閉症・発達障がいを正しく知ってほしい

一般の方々に自閉症・発達障がいについて知ってもらいたいと、ペアレントメンターによる「キャラバン公演」を行うほか、機関紙「くらぶぴーす」を年2回発行。自閉症・発達障がいについては、誤解や偏見もあります。「発達障がい」とのネーミングから、病気と思いついでいる方も少なくありません。そのため、正しい情報を提供することを大切にしています。周りの人から理解されにくく、本人も保護者も孤立しがち。けれど活動を通じて自閉スペクトラム症を理解する支援者が増え、ともに活動できることが喜びです。

地道な活動が評価される

令和5年にペアレントメンターの活動が認められ「保健文化賞」を受賞。贈呈式の翌日には、皇居で天皇皇后両陛下の拝謁を賜りました。平成23年度からペアレントメンターの活動に関わる事業を県の委託事業として取り組んでおり、当事者が家族支援に取り組むことに一定の評価をいただいたものと考えています。今後も、仲間づくりや若い保護者の居場所づくりなどの取組を進めていきます。

4月2日から8日までは発達障害啓発週間!

毎年4月2日は国連の定めた「世界自閉症啓発デー」。発達障害啓発週間中は、全国各地で啓発のブルーライトが点灯されます。鳥取、倉吉、米子でも青色に照らされる建築物が見られると思います。期間中は、県内各図書館・公共施設などで啓発図書、グッズを展示します。ぜひお越しください!



ブルーライトアップされた社会医療法人仁厚会医療福祉センター倉吉病院